

常任委員会 委員長報告

当初予算
関係抜粋

令和3年度予算関係議案などを審査するため、3つの常任委員会に付託され、以下の質問がありました。

総務委員会 委員長 小沼秀朗

はしご付消防車車両について

Q 30 m級はしご付消防車の新規整備事業内容と、市内高層建築物の全てが消火可能となるのか伺う。

A 同型車所有の静岡市で研修を予定しており、整備のない袋井市、菊川市、御前崎市と、有事の際に協力体制をとります。市内に15 m以上の中高層建築物が200棟以上、そのうち31 m以上の高層建築物は9棟ありますが、延焼抑制構造や、スプリンクラーにて、心配ないと考えています。

職員採用を Web で行うことについて

Q 地元を良く知る人材も必要であると考え、Webでの職員採用試験のメリットを伺う。

A 遠方でも試験を受けることが可能になり、優秀な人材を幅広く採用できます。今回、大阪府、茨城県、石川県の方を採用しました。女性職員の採用も増加しています。

市税の徴収猶予特例制度について

Q 徴収猶予特例制度による滞納繰越分の来年度以降の状況を伺う。

A 徴収猶予特例制度は、今年度で終了となります。今後は、催告をしながら徴収を進めていきますが、滞納繰越になる可能性もあります。

環境産業委員会 委員長 山本裕三

シティプロモーションについて

Q シティプロモーション部門を改編する理由を伺う。

A 選ばれるまちの実現に向けて、地域の魅力を活かしたシティプロモーションにより人材等を呼び込み移住定住を図るため、「シティプロモーション・移住促進係」を設置しました。

緑茶の健康効能研究について

Q 静岡県立大学の緑茶の健康効能研究結果に合わせたPR方法について伺う。

A 効果があることが発表された場合には、パンフレットやSNSを活用し情報発信していきたいと考えています。

地域経済活動活性化事業について

Q 地域経済活動活性化事業費、「新たなビジネススタイル応援補助金」を創設した目的は。

A 新たな生活様式や働き方の変化に合わせた、新規事業進出者を支援することで店舗や事務所を増やし、地域経済を活性化していくためです。

文教厚生委員会 委員長 窪野愛子

結婚新生活支援事業について

Q 結婚新生活支援事業費補助金の算出根拠について伺う。

A 昨年度の掛川市の婚姻数や他市の事業実施状況を勘案して算出しました。

老人クラブ育成事業について

Q シニアクラブについて制度改正をする考えはないか伺う。

A あり方について根本的なところからしっかりと考えていきます。

図書館運営について

Q 図書購入費の減額理由について伺う。

A 電子図書館システムやデジタルアーカイブの導入を進めていくため、図書購入費を減額しました。